

教育
指導課

楽しい学校生活のはじまり

令和2年度庄原市立小学校入学式



山口校長からのお祝いの言葉

有栖川沿いの桜の花も満開を迎えた4月7日、東城小学校の入学式を行いました。本年度は、男子22人、女子16人、計38人のピカピカの1年生が入学しました。新入生点呼では、元氣よく返事をするのができました。また、山口美穂校長の「1年生の皆さん、入学おめでとう。楽しい学校生活を送るために『挨拶と返事』『友達に優しく』『あきらめない』の三つを頑張りますよ」というお祝いの言葉を真剣に聞いていました。本年度の入学式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止



在校生が作成した似顔絵とメッセージ

のため、在校生の参加を取りやめることとしました。しかし、新1年生の入学を楽しみにしていた在校生は、一人一人が作成した似顔絵を式場内に飾り、式終了後には、退場してきた1年生に向けてグラウンドから「おめでとう！」と大きな声を届けました。本年度、東城小学校は教育目標を「学びを生かし、主体的に生きる児童の育成」とし、226人全ての子どもたちの成長を願い、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいきます。

商工
観光課

帝釈峽を美しく

官民連携による神龍湖の流木撤去と遊歩道の清掃



遊歩道から見た神龍湖 清掃前(左)、清掃後(右)

庄原市、神石高原町、地元住民、中国電力(株)が協力し、広島県調整のもと、比婆道後帝釈国定公園「帝釈峽」の遊歩道のごみや、神龍湖の流木などを、撤去・清掃しました。この取り組みは、国定公園の景観保全や環境改善を目的に、広島県の補助事業を活用して行われました。地元住民が遊歩道の清掃、中国電力(株)が流木の陸揚げ、市町が流木やごみを処分するなど、官民が役割分担をして行



ダム付近の湖面 清掃前(左)、清掃後(右)

いました。帝釈峽の活性化を目的に各種団体で構成された「帝釈峽いちばん愛する会」の八谷輝行会長は「この取り組みにより、神龍湖や遊歩道をはじめ、帝釈峽の魅力を高め、観光客を受け入れる準備を進めていきたい」と話していました。

西城支所

新園舎の完成を祝う

西城保育所新園舎完成式



テープカットの様子

3月29日、西城保育所新園舎の完成式を開催しました。市や、指定管理を担う社会福祉法人おぬか尚友会の関係者など、約50人が見守る中、新園舎の完成を祝ってテープカットが行われました。新園舎は、アレルギー食調理室や病後児保育室など、安心安全の保育をサポートする設備を多数備えています。完成式終了後は、式典参加者を対象に新園舎の内覧会が行われ、参加者は「木のぬくもりを感じる、よく工夫された施設だ」「広々として開放的な園舎で、子どもたちのびのびと成長してほしい」と話していました。